

第131回教育研究評議会議事要録

1 日 時 平成26年6月20日(金) 13:30~15:45

2 場 所 事務局第1会議室

3 議 事

(1) 部局長の運営方針表明について

教育学部長から、資料1-1に基づき、教育学部の運営方針について表明があり、この表明に関連して、①専門教育と教養教育における英語教育の関連性と相互作用、②教育実践に係る研究力の向上について意見交換があった。

次いで、多文化社会学部長から、資料1-2に基づき、多文化社会学部の運営方針について表明があり、この表明に関連して、施設面における教育環境整備について意見交換があった。

(2) 平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について

理事(総務・財務担当)から、資料2に基づき、平成25事業年度に係る業務の実績に関する報告書(案)について説明があり、審議の結果、修正がある場合には急ぎ連絡いただくとともに、今後のブラッシュアップについては執行部に一任することが了承された。

(3) 大学機関別認証評価に係る自己評価書(案)について

副学長(認証評価担当)から、資料3に基づき、大学機関別認証評価に係る自己評価書(案)について説明があり、審議の結果、修正がある場合には急ぎ連絡いただくとともに、今後のブラッシュアップについては執行部に一任することが了承された。

(4) 長崎大学就職支援体制について

副学長(学生担当)から、資料4に基づき、今後の長崎大学の就職・キャリア支援の充実のため就職支援室を設置し、将来的にはキャリアセンターを設置することについて説明があり、審議の結果、次のような意見が出され、これらの意見を踏まえ、副学長(学生担当)を中心としたワーキンググループを設置し、引き続き検討していくこととなった。

- 学生の就職支援に関しては、必要性、支援体制とも学部によって状況はまちまちである。
- 事務職員は就職専門のトレーニングを受けているわけではないので、データ分析ができる特任の職員を配置することで手厚い就職支援に繋がるのではないかと。
- 人事異動で担当者が変わることもウィークポイントである。専門の戦略職員が必要である。
- 学生のニーズが学部によって違うので、全学でそれに対応していくのは難しいのではないかと。
- 自分がどのような職種の職業に向いているのか分からない学生も少なからずいる。本構想は就職することを決めた学生を対象にしていると思うが、もっと大きな枠で相談できる体制が取ればよいのではないかと。
- 学部ごとに売り込むポイントが違うので、全学でまとめることは難しいかもしれないが、就活イベント等はまとまってできるのではないかと。
- 大学の外から協力が得られるような体制がとれると有効なのではないかと。
- 学部の特性にあわせた、キャリアアドバイザー的職員の育成が必要であると。

(5) 入学者選抜方法等の主な変更点について

副学長（入試担当）から、資料5に基づき、平成27年度の入学者選抜方法等の主な変更点について説明があり、審議の結果、異議なく了承された。

9 報告事項

(1) 平成26年度学部・研究科等教育研究推進経費について

理事（総務・財務担当）から、資料6に基づき、平成26年度に新設した学部・研究科等教育研究推進経費について、学内ヒアリング及び再提出された申請書に基づく審査結果等の報告があった。この報告を受けて、大要次のような意見が出された。

○評価が低くなったことについて、評価のポイントや理由の説明がないと学部等に持ち帰って説明ができないため、根拠を示してほしい。

○そもそもの趣旨は、運営費交付金が削減される中、施設整備費等、大学全体で必要となる経費を確保するために実施したものであり、B評価を配分の基準としている。A評価や特A評価は、特筆すべき取組を行っている部局等に対する上乘せ分であって、B評価が低いということではない。評価内容や公表の方法等については、前向きに検討したい。

○B評価が基準であっても、部局長のリーダーシップが評価されなかった印象を受けてしまう。

○部局によってそれぞれ置かれている立場や規模が違うのだから、ドラスティックなことができないところもあるのではないか。

○学部と研究科の関係について、今回の申請においてはそれぞれで捉え方に差があったように感じる。次回以降、整理が必要である。

これらの意見を踏まえ、評価内容や公表の方法等について検討し、再度提示することとなった。

(2) 全学共通3ポリシーの制定について

理事（教学担当）から、資料7に基づき、全学共通のカリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーについて、5月30日開催の教育研究評議会での意見を受けて再検討し、役員会において決定し制定したことの報告があった。

(3) NU-Web 学務情報システムの更新について

副学長（情報担当）から、資料8に基づき、今年度更新する NU-Web 学務情報システムについて、今後のスケジュール、更新体制及び更新方針等の報告があった。

(4) 「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」について

理事（教学担当）から、資料9に基づき、平成26年度「高度人材養成のための社会人学び直し大学院プログラム」の公募のスケジュール等について報告があった。

(5) 多文化社会学部設置記念式典について

多文化社会学部長から、資料10に基づき、平成26年6月26日に挙げる多文化社会学部設置記念式典等について案内があった。

(6) その他

理事（人事担当）から、5月30日開催の教育研究評議会において審議を行った、教員の人事についての経過報告があった。

以上